

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-2-3		事業名	ウインタースポーツ振興事業
担当	観光文化局 スポーツ部 企画事業課 塚本慈彦 211-3044			
全体計画				
事業内容	低迷傾向が見られるウインタースポーツの活性化を図るため、以下の事業を実施する。		＜年度別の事業内容＞	
	<p>1 ウインタースポーツ体験キャンペーン 学識者や民間の組織・団体との連携により「ウインタースポーツ活性化推進協議会」を設置して新たな普及啓発事業を企画し、「ウインタースポーツ体験キャンペーン」として展開する。</p> <p>2 学校教育と連携したウインタースポーツの普及啓発 小中学校ウインタースポーツ体験支援事業を展開する。</p> <p>3 冬季五輪、ノルディックスキー世界選手権のメモリアル活用 各種記念行事を開催する。</p> <p>4 札幌ウインタースポーツアカデミーの開設 札幌出身のトップ選手輩出を目指して、ジュニア育成体制を整備する。</p> <p>5 ウインタースポーツの調査・研究の推進 普及状況、社会環境の変化に対応した振興方策に関する調査研究を継続する。</p>		<p>平成19年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ウインタースポーツ活性化推進協議会開催 小中学校ウインタースポーツ体験支援事業 ウインタースポーツの調査研究 <p>平成20年度～22年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ウインタースポーツ活性化推進協議会開催 ウインタースポーツ体験キャンペーン実施 小中学校ウインタースポーツ体験支援事業 札幌ウインタースポーツアカデミー企画・調査 ウインタースポーツの調査研究 	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<p>1 小中学校ウインタースポーツ体験支援事業 (1)札幌市立中学校保健体育科スキー授業支援事業 (財)札幌スキー連盟及びスキー場を運営する10社との協働により24校の授業に外部指導者を派遣し支援を行った。 (2)歩くスキー出前授業モデル事業 (財)さっぽろ健康スポーツ財団に業務委託し2つの事業を実施した。 ・「冬季宿泊学習における歩くスキー出前授業」 滝野の宿泊学習で歩くスキー体験学習を行う小学校4校を対象に外部指導者を派遣し滑走法の実技指導を行った。 ・「学校における歩くスキー出前授業」 学校の敷地内で歩くスキー体験学習を行う小中学校各1校を対象にスキー用具貸出や外部指導者による実技指導を行った。</p> <p>2 ウインタースポーツ活性化推進協議会開催準備 協議会の組織化に向けて、「ウインタースポーツの活性化」をテーマに複数の冬季スポーツ競技団体と個別に意見交換会を実施した。</p> <p>3 ウインタースポーツ啓発イベントの開催 雪遊び・ウインタースポーツの体験イベント「ウインタースポーツフェスティバル2008inつどーむ」を雪まつり協賛行事として開催し、延べ1,200人の来場があった。</p>		<p>1 ウインタースポーツ活性化推進協議会開催 ウインタースポーツの活性化施策のあり方をテーマに有識者による協議会を開催した。</p> <p>2 市立学校ウインタースポーツ体験支援事業 中学校・高校のスキー授業支援事業、小学校対象の歩くスキー出前授業を実施した。</p> <p>3 競技力向上システムに関する調査研究 和歌山県及び美深町で実施している「子どもの競技力向上事業」の視察調査を実施した。</p> <p>4 ウインタースポーツキャラバン事業 公園や学校グラウンドなど身近な場所で歩くスキー・チューブ滑り等の体験会を実施した。</p> <p>5 ウインタースポーツ体験キャンペーン事業 雪まつりにおける歩くスキー体験事業、カーリングウイークin大倉山及びウインタースポーツビンゴ事業を実施した。</p>	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<p>1 ウインタースポーツ活性化推進協議会開催 ウインタースポーツの活性化施策のあり方をテーマに有識者による協議会を開催した。</p> <p>2 市立学校ウインタースポーツ体験支援事業 中学校・高校スキー学習支援事業、小学校対象の歩くスキー出前授業を実施した。</p> <p>3 ウインタースポーツ活性化に関する調査研究 モデル事業の実施などの実践研究を行った。</p> <p>4 ウインタースポーツキャラバン事業 公園や学校グラウンドなど身近な場所で歩くスキー・チューブ滑り等の体験会を実施した。</p> <p>5 ウインタースポーツ体験キャンペーン事業 雪まつりにおける歩くスキー体験事業及びウインタースポーツビンゴ事業などを実施した。</p>		<p>1 ウインタースポーツ活性化推進協議会開催 ウインタースポーツの活性化施策のあり方をテーマに有識者による協議会を開催した。</p> <p>2 市立学校ウインタースポーツ体験支援事業 中学校・高校スキー学習支援事業としてインストラクターの派遣を行った。小学校対象の歩くスキー出前授業として外部指導者を派遣し滑走法の実技指導を行った。</p> <p>3 ウインタースポーツ活性化に関する調査研究 モデル事業の実施などの実践研究を行った。</p> <p>4 ウインタースポーツキャラバン事業 公園や学校グラウンドなど身近な場所で歩くスキー・チューブ滑り等の体験会を実施した。</p> <p>5 ウインタースポーツ体験キャンペーン事業 雪まつりにおける歩くスキー体験事業及びウインタースポーツビンゴ事業などを実施した。</p>	
規模数等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-2-3			事業名	ウインタースポーツ振興事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
ウインタースポーツをする人の割合	13%	13%	13%	11.5%	11.3%	20%	
ウインタースポーツ体験事業数	2事業	4事業	24事業	23事業	33事業	20事業	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 各種スポーツ体験事業においては、財団法人札幌スキー連盟、NPO法人北海道歩くスキー協会、NPO法人北海道ライフスポーツ推進協議会、札幌カーリング協会等の協力を得ながら実施している。また、事業の参加者に対してアンケートや聴き取り調査を実施し、感想や意見を聞き取ることにより市民ニーズの把握、事業効果の検証に役立っている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 体験キャンペーン事業については、事業趣旨に賛同していただいた企業から資金協力を得ている。 [人材協力] 市立学校スキー学習支援事業では、財団法人札幌スキー連盟、体験キャンペーン事業については、やNPO法人北海道歩くスキー協会及びNPO法人北海道ライフスポーツ推進協議会、ウインタースポーツ活性化に関する研究調査については、札幌カーリング協会から指導者派遣等の協力を得ている。 [情報協力] ウインタースポーツ振興に携わる組織・団体との情報交換を行い、事業のアイデアやノウハウを活用している。 [その他の協力] ウインタースポーツ振興に携わる組織・団体とのネットワークづくりを行い、連携体制の構築に努めている。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市民や企業が参画しやすいような事業のしくみづくりを心掛け、市民一丸となってウインタースポーツを盛り上げる機運を喚起・醸成する。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>学校におけるウインタースポーツ体験を支援する事業や、幼児からシニアまで幅広い年齢層を対象とした各種体験事業を展開した。特に市立学校スキー学習支援では、中学校の授業支援が平成18年度の22校から今年度の36校に増加するとともに、スキー学習の復活の兆しも見えてきた。また、ウインタースポーツキャラバンでは、幼稚園を対象に前年度の10園から22園に拡大し実施した。</p>			<p>市立学校スキー学習支援事業は、スポーツ振興の側面から中学校・高等学校のスキー学習を支援することでスキー実施者数の増加に繋げることを目的としてきたが、スキー学習実施校が増加してきたことから目的の達成にめどが立ったといえる。今後は、教育委員会や学校のプログラムとして移行していくことや受益者負担への道筋を立てていくことが課題となる。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>市立学校ウインタースポーツ体験支援事業では、学習指導要領の改訂に伴う保健体育の授業時間数の増加や札幌市教育委員会が掲げる特色のある教育「雪」が重点となったことから学校スキー学習の復活が見込まれるため、平成24年度までをひとつの目安にし手厚く支援を行う。</p> <p>他の事業では、多くの市民がウインタースポーツの楽しさを味わうことができるように、関係団体と連携・協力しながら新たな取り組みを今後も検討していく。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-2-3			事業名	ウィンタースポーツ振興事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	1,800	2,700	2,700	2,800	10,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	1,800	2,700	2,700	2,800	10,000					
予算	事業費	1,800	12,600	9,700	14,390	38,490				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	12,600	9,700	14,390	36,690				
一般財源	1,800	0	0	0	1,800					
実績	事業費	2,376	12,337	9,829	13,517	38,059				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	12,337	9,700	13,517	35,554				
一般財源	2,376	0	129	0	2,505					
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					380.6%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
<p>《全体》 ノルディックスキー世界選手権大会の剰余金を本事業で活用することとなったため、平成20年度より予算を増額し事業内容の拡充を図り、概ね10年程度の見通しで事業を推進することとした。</p> <p>[19年度] 当初計画になかった「ウィンタースポーツフェスティバル2008inつどーむ」を雪まつり協賛行事として実施したため、事業費が予算を上回った。予算との差額は部内の経常費から充当した。</p> <p>[20年度] 予算の増額に伴い事業内容の拡充を図ることとした。</p> <p>[21年度] ウィンタースポーツ振興協議会が企画するモデル事業を実施したため、事業費が予算を上回った。</p> <p>[22年度] 中学校・高等学校スキー授業インストラクター派遣事業における派遣形態の変更に伴う経費の拡充を図った。</p>										